

# GASで作る「LINE自動返信」

## 【コース概要】

このコースでは、GASで作る「LINE自動返信」の基本から実務で使える応用までを学びます。全6コマ（300分）で構成され、実務で使えるハンズオンが中心です。

### 【1コマ目】全体像の理解 | 仕組みを先に理解する（50分）

- LINE自動返信の全体構成（LINE → GAS → スプレッドシート → ChatGPT）
- LINE公式機能との違い・メリット/デメリット
- 「何をGASでやり、何をChatGPTに任せるのか」の切り分け
- 自動返信でやっていいこと・ダメなこと（運用上の注意）

### 【2コマ目】ChatGPTでコードを書くための指示の出し方（50分）

- 「そのまま使えない指示」の典型例を知る
- ChatGPTにコードを書かせるための正しい伝え方（目的 / 入力 / 出力 / 制約条件 の分解）
- GAS向けプロンプトのテンプレ作成

### 【3コマ目】スプレッドシートの設計と使い方（50分）

- 自動返信用スプレッドシート構成（キーワード・回答文・カテゴリ・優先度）
- 表記ゆれを吸収する設計の考え方
- 簡易RAGとして使うための設計ポイント
- 現場で管理しやすいシート構成の提案

### 【4コマ目】GAS基礎とLINE連携（50分）

- Google Apps Scriptの基本（スクリプト構成/トリガーの使い方）
- LINEのWebhookを受け取る仕組み（受信→解析→返信のフロー）
- スプレッドシートから回答を取得してLINEへ返信する基本フロー
- エラーが出たときの見方・直し方の実践例

### 【5コマ目】ChatGPT連携で自動返信を高度化（50分）

- ChatGPT APIの役割と使いどころ
- スプレッドシート+ChatGPTの使い分け（どちらで判断するか）
- 曖昧な質問への対応方法と回答文の作り方・制御方法
- 無駄なAPIコストを抑える設計（バッチ化・条件分岐等）

### 【6コマ目】チューニングと運用設計（50分）

- 回答精度を上げるチューニング方法
- 想定外の質問が来たときの処理（フォールバックと有人対応の切替）
- 自動返信と人対応の切り分けルール設計
- 実運用での改善ポイント整理と自社向けカスタマイズまとめ

## 概算シミュレーション見積書

コース名	数量	単価	金額
GASで作る「LINE自動返信」	1	¥59,400	¥59,400
テキスト代	1	¥3,300	¥3,300
		小計	¥62,700
		合計（税込）	¥62,700

### 【注意事項】

- 本見積書は、2026年度版となっておりWebサイト掲載期間中に限り有効です。
- 予告なく価格を変更する場合があります。
- 本見積は概算であり、正式な見積は個別相談となります。
- お見積り内容は、発行（ダウンロード）より1ヶ月間有効とみなします。
- 最新の価格は弊社Webサイトをご確認ください。